

I. 広東省

1 2018年の広東省の消費電力は全国トップ

●11日、広東省エネルギー局の発表によれば、広東省の電力消費量は6,323億キロワット時(kWh)で、全国トップだった。前年比6.11%増だった。また、天然ガス消費量は220億立方メートルで同比12%増、石炭消費量は1億6,800万トンで同比2%減、石油製品の消費量は3,340万トンで同比7.2%増だった(12日付「南方日報」14面)。

2 虎門二橋が5月1日までに開通

●広東省交通集団は、広州市南沙区と東莞市沙田鎮を結ぶ虎門二橋が5月1日までに開通する見通しを示した。全長は12.89メートル、車線は上下合わせて8車線、設計時速は100キロメートル、設計寿命は100年(12日付「深セン特区報」1面)。

3 第13期全国人民代表大会第2回会議広東省代表団が、同福建省代表団の審議時における習近平総書記の重要講話について伝達・学習

●12日、第13期全国人民代表大会第2回会議広東省代表団が全体会議を開催し、同福建省代表団の審議時における習近平総書記の重要講話について伝達・学習をした。李希・広東省党委書記は、国際的に一流のビジネス環境の構築に力を入れ、全社会がイノベーション・創業・創造の活力を奮い立たせること、広東省と台湾の更なる交流・協力関係を強化すること、広東省の老区(革命根拠地)の経済・社会発展工作を着実に実行すること等を強調した(13日付け「南方日報」1面)

II. 広州市

1 広州市政府がドイツ企業と「インダストリー4.0」で提携

●13日、広州市政府、華南理工大学、ドイツの自動車部品大手のポッシュの三者が協力枠組み協定に署名し、インダストリー4.0イノベーション技術センターを共同で設立する。市政府、大学、企業がそれぞれの強みを生かして、スマート製造の「産学官研究・活用」の一体化を実現していく(14日付「南方日報」15面)。

(当館注)インダストリー4.0とは、ドイツが産学官共同で推し進めている国家プロジェクトで、ITを製造業に応用しモノづくり革命を起こし、ドイツの輸

出競争力の拡大を図ることを目的にしている。

Ⅲ. 深セン市

1 2019年と2020年に深セン市の地下鉄8路線を開通

●深セン市の交通当局によれば、2019年と2020年に深セン市で地下鉄8路線が開通する（路線の延長を含む）。これにより深セン市の地下鉄は約117キロメートル延長し、総延長は約403キロメートルとなる（13日付「深セン特区報」8面）。

Ⅳ. 福建省

1 習近平総書記が第13期全国人民代表大会第2回会議福建省代表団の審議に参加

●10日、習近平総書記が第13期全国人民代表大会第2回会議福建省代表団の審議に参加した。習近平総書記は、イノベーション・創業・創造に利する良好な発展環境を整え、改革開放への原動力とし、社会全体にイノベーション・創業・創造のエネルギーを最大限放ち、世界情勢の変化が大きい中で我が国の影響力と競争力を絶えず強化していく必要があると強調した。また、海峡兩岸は、経済・貿易協力の円滑化、インフラ施設の連結、エネルギーや資源の相互調達、産業基準の共通化等を高め、福建省が台湾同胞や台湾企業が大陸に入る時の最初の家になるように努力してほしいと述べた。また、習近平総書記は、今年是中国成立70周年を迎え、水を飲むときに水源のことを思い出し、老区の人民を決して忘れてはならない。老区が全面的な小康社会を構築する過程で取り残されないように確保しなければならないと述べた（11日付「南方日報」1面）。

Ⅴ. 広西チワン族自治区

特になし。

Ⅵ. 海南省

1 海南省のNEV車充電スタンドは今年4万基設置

●12日、海南省発展改革委員会によれば、海南省は新エネルギー車（NEV）向けの充電スタンドを4万基設置する予定だと明らかにした。計画では、2020年までに海南省内の充電スタンドを累計で8万5,000基を設置し、2025年には33万7,000基を設置し、2030年には94万基を設置する（13日付「海南日報」）。

（了）